

丹沢 鍋割山—大倉尾根ハイキング 報告

日 程： 6月12日（日）曇り時々晴れ

メンバー： 井上志津子 他4人会員外 夫：井上眞、 孫：主手一真（中一）、
由則（小二）、真則（年長）

山城、ルート： 丹沢、 鍋割山(1273m)～大丸（1386m）～大倉尾根

コースタイム： 渋沢駅 7:30—表丹沢県民の森 8:15—ミズヒ沢 9:30—後沢乗越—

11:30 鍋割山 12:30—大丸 13:30—金冷シ 14:00—大倉尾根 17:45—大倉バス停



おいしい鍋焼きうどんを食べて満足の5人。ここまではよかった。

次女 M 子と3番目の孫の M 則が今年富士山に登りたい、と言うのでまずは練習と13日に3人で鍋割山ハイキングを計画した。が、みごとに雨予報となり、1日早く日程を変更したところ、メンバーまで変わってしまい曇り空の下この5人で決行となった。

昨年の K は2人で上高地から槍ヶ岳（登頂ならず—報告済み）を目指したが、すごいゆっくり歩調で驚いたものの、今年は卓球部に入部して、体力、歩調もすっかり復活してまた驚かされた。

「表丹沢県民の森」までタクシーを使い、ゲートを越えて揺れる木橋を緊張しつつ2度渡った。K はミズヒ沢で大きなザックに水のペットボトル（2リットル）を6本入れた。途中夫が西側の山に向かって大音声でヤッホーと叫ぶと本当にこだまが返ってきた。

やっとの思いで頂上に着き、小屋主さんやスタッフの皆さんに挨拶して、鍋焼きうどんを食べて一息入れた。だが、後が長いのでそうゆっくりもしてられない。富士山も雲に見え隠れしながら姿をあらわしてくれ、写真を撮り12時半に小丸へ、大丸から金冷シへと向けて出発した。

樹林帯はよく整備されていて、歩きやすい。金冷シから大倉尾根も歩きやすくなっていた。花立山荘でかき氷を食べ、本気の下山となる。途中 M がウン〇がしたくなり、用意の携帯トイレを出したものの、不発に終わり約 1 時間後またウン〇タイムとなり、今度はうまくいったが出したりしまったりで時間がかかる。小 2 と年長は仲がよいが小競り合いも多く、調整も必要であった。



何度も休んでやっとゴール（大倉尾根 No. 1）に着いたのは予定の 17 時を 45 分も過ぎていた。



ソフトクリームで疲労回復の Y と M 大倉バス停で



K は途中から走り出し大倉バス停で待ちくたびれていた。時間はかかったものの無事下山できたので次の富士登山の相談をしたいと思います。

以上